

ハ各所管、獨立守備歩兵大隊所屬ノ騎兵曹長ニ在リテハ當該部  
隊ニ命課前所屬ノ部隊、陸軍航空本部、陸軍航空廠、陸軍航空  
技術研究所、陸軍飛行學校及陸軍航空技術學校所屬ノ航空兵曹  
長ニ在リテハ當該所管

二各兵科下士官（曹長及砲、工兵諸工長ヲ除ク）ヲ進級セシムル  
五ハ各司令部、各隊、各官衙及各學校但シ拔擢官ノ在ラサル官衙、  
學校附ノ者及派遣、分遣中ノ二者ニ在リテハ原隊、獨立守備隊司  
ハ其司令部及獨立守備歩兵大隊所屬ノ騎兵<sup>科</sup>下士官ニ在リテハ當該獨立  
獨立守備隊<sup>科</sup>下士官ハ其ハ人員募集ヤリハシヤセムル事ニ在リテ

附則

本達ハ昭和十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本議ハ御議士等十二日一日ヨリ之ヲ議シテ

理由

獨立守備隊騎兵<sup>科</sup>下士官ハ其ノ人員寡少ナルノミナラス曹長ニ在リテ  
ハ其ノ進級區域ヲ規定スルノ必要アルト憲兵曹長及航空本部所管内  
ノ航空兵曹長ハ編制制度ノ改正ニ伴ヒ其ノ進級區域ヲ本案ノ如ク改  
正スルヲ適當ト認メタルニ由ル

二 各兵科下士官（曹長及副曹長）ノ進級區域ハ

一 陸軍部所管

陸軍部所管ノ進級區域ハ陸軍部所管ノ進級區域ニ依リテ

陸軍部所管ノ進級區域ハ陸軍部所管ノ進級區域ニ依リテ

陸軍部所管ノ進級區域ハ陸軍部所管ノ進級區域ニ依リテ

甲輯第二類目次  
補任服務

番編  
号次

件

名

形式  
主務  
年  
受  
番  
號

一 勅令ノ規定ニ依リ陸軍ノ定員外ト爲リタル者等ノ前屬ノ件中改正ノ件

二 現役ニ在ル陸軍武官ニテ對滿事務局又ハ南滿事務局職員ニ任セラルル者ニ關スル件

三 關東軍野戰航空廠附將校ノ陸軍航空本部部員兼勤ニ任テ同將校ノ執務要領ニ關スル件

四 飛行機操縦術教育又ハ練習ノ指導ト爲学校等ノ陸軍現役將校以下派遣ノ件

勅令 令	達 令	勅令 令	達 軍令
一〇	一〇	九	九
令	令	令	令
一七四九	一一六七	二四五〇	二四四九
合	合	合	合

補任服務

陸

員

五

在外武官ヨリ一時他ノ職務ヲ兼ネ行ハシムル件

照會軍事

一。

貳

一八之九

合

號

牛島

決行指定

決裁指定

保存期限

房官臣大		課局務主		大臣 牛島	件名 勅令ノ規定ニ依リ陸軍ノ定員外ト爲リタル者等 所屬ノ件中改正ノ件	番受 陸軍省 貳第二四四九號
了結	領受	出提	領受			
昭和 年 一月四日	昭和 年 十一月廿四日	昭和 九年 十月廿九日	昭和 年 月 日	局長 主務	政務 次官	起元應(課)名 軍事課
(裁決)行決 覽回後		帶連		局長 本橋	政務 次官	參與官
長局		長局		課長 主務 本橋	高級 副官 牛島	書記官 日高
長課		長課		主務課員	主務副官 官房御用掛 計掛 福富	審案 筆記者

政務次官 回付 決裁後 前連帶 課名 補 勳 主

政務次官 回付

永久甲 昭務

陸軍省 9.11.5 勳員課

決行(決裁)後 回覽 課名

9.10.29 214 補任課

9.11.2 補任課

陸軍

陸軍一般ノ達案  
(別紙ノ通)

(陸普)

國普第七七二九號

昭和九年十二月廿七日



勅令案

朕現役ニ在ル陸軍武官ニシテ對滿事務局又ハ南滿事務局ノ職員ニ任ゼラレ又ハ補セラレタル者ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和九年十一月二十六日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第三百八十七號

現役ニ在ル陸軍武官ニシテ對滿事務局ノ職員ニ任ゼラレタル者ハ現役トス

前項ニ該當スル者及現役ニ在ル陸軍武官ニシテ對滿事務局又ハ南滿事務局ノ職員ニ補セラレタル者ハ陸軍ニ於テ之ヲ定員外ト爲シ陸軍ノ在職者

ニ關スル規定ヲ適用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理由書

對滿事務局官制及南滿事務局官制ノ制定ニ伴ヒ現役陸軍將官カ對滿事務局總裁又ハ次長ニ任セララルコトアルヲ以テ依然之ヲ現役トナシ且陸軍現役將校同相當官カ兩事務局ノ專任事務官ニ補セララルコトアルヲ以テ此等ヲ陸軍ノ定員外トシ陸軍ノ在職者トシテ取扱フ必要アルニ由ル



號

二

第

牛島

決行指定

決裁指定

保存期限

房官臣大	課局務主
了結	領受
昭 和 九 年 一 月 一 日	昭 和 九 年 一 月 一 日
領受	出提
昭 和 九 年 一 月 一 日	昭 和 九 年 一 月 一 日
號番	軍事課第三〇九號

大臣  
佐

受領番  
陸軍省  
貳第二四五〇號

現役ニ在ル陸軍武官ニシテ對滿事務局又ハ南滿事務局職員ニ任セラレタル者ニ關スル件

局長 主務 次官 政務 次官



局長 主務 課長

高級 副官



主務課員

主務副官 官房御用掛



書記官



審案 筆記者

審案 筆記者

決行後 決回 決裁 (裁決) 覽

局長 局長

長課 長課

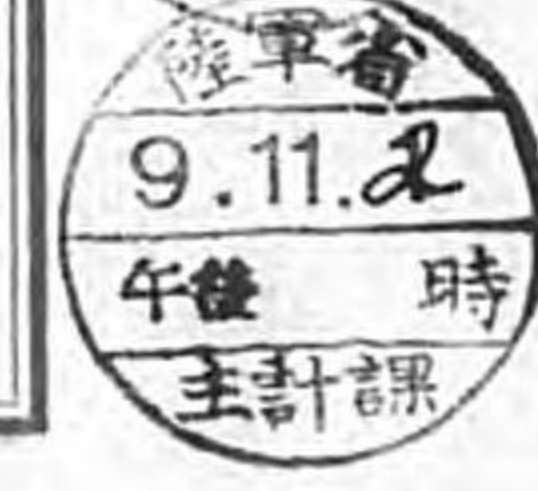
政務次官 回付 決裁 後前連帶 課名

永久甲 補位

參謀本部 書記官



決行(決裁)後 覽 課名



陸軍

閣議請議案

(陸普)

現役ニ在ル陸軍武官ニシテ對滿事務局又ハ  
南滿事務局職員ニ任セラルタル者ニ關スル件  
別紙勅令案ノ通制定相成度理由書ヲ具  
シ閣議ヲ請フ

陸普第七〇七一號

昭和九年十二月廿四日



陸 普 案

勅令ノ規定ニ依リ陸軍ノ定員外ト爲リタル者  
等ノ所屬ノ件中改正ノ件

昭和九年 月 日

陸 軍 大 臣

大正十二年陸普第一二八二號勅令ノ規定ニ依リ陸軍ノ定員外ト爲リタル者等ノ所屬ノ件中左ノ通改正ス

第一號<sup>中</sup>「及同機關ノ事務處理ノ爲常時外國ニ滞在ヲ命セラレタル者ハ陸軍省軍務局」ヲ「同機關ノ事務處理ノ爲常時外國ニ滞在ヲ命セラレタル者及對滿事務局職員ニ任命セラレタル者ハ陸軍省軍務局」ニ改ム

第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五

南滿事務局職員ニ任命セラレタル者ハ關東軍司令部

理由書

勅令ノ規定ニ依リ對滿事務局、及南滿事務局ノ職員ニ補セラレ陸軍ノ  
定員外トナリタル現役將校同相當官ノ所屬ヲ定ムル必要アルニ由ル

大臣 委		主務局長		次官		政務次官		參與官		書記官		審案 筆記者	
局長		高級副官		主務課長		主務副官 官房御用掛		主務課員					
局長		局長		局長		局長		局長		局長		局長	
昭和三十九年六月廿一日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日	
了結		領受		出提		領受		號番		軍事律第七號			
大房官臣大		主務局長		次官		政務次官		參與官		書記官		審案 筆記者	
昭和三十九年六月廿一日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日		昭和三十九年六月廿七日	
了結		領受		出提		領受		號番		軍事律第七號			
大房官臣大		主務局長		次官		政務次官		參與官		書記官		審案 筆記者	

陸軍野戰航空廠附將校、陸軍航空本部部員  
兼勤二伴、同將校、執務要領、関スル件

受領番號 陸軍省 貳第一二六七號

起元廳(課)名

軍事課

政務次官 回付 決裁 前後連帶 課名

參事(課) 清永

永久甲

決行(決裁)後 回覽 課名

陸軍

陸軍航空本部長へ稟案

検査業務、為關東軍野戰航空廠ニ配屬セラレタル者ノ  
滿洲航空株式會社航空工廠ニ對スル執務要領中、左記事

項ハ中貴官ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

自其外他事項ハ關東軍司令部ニ於テ之ヲ定ムルモノトス  
軍用機製作上ノ見地ヨリ工場設備ニ關シ要領事

項アルトキハ該將校ヨリ直接會社ニ對シ之ヲ行ハシムルコトナ  
ク關東軍ニ於テ之ヲ要求スヘキニ付申添フ

左記

陸普第三四三二號 昭和十年六月十七日

一、軍用機ノ製造、研究、機密保持ニ關スル監督

二、製造原價ノ調査（調査品目ノ決定ヲ含ム）、購入品ノ

検査及下請工場ノ調査

簿

次官ヨリ関東軍参謀長宛通牒案

検査業務ノ為関東軍野戦航空廠ニ配属セラレタル者ノ  
満洲航空株式會社航空工廠ニ對スル執務要領中左記  
事項ハ陸軍航空本部長之ヲ定メ、其他ハ関東軍司令  
官之ヲ定マルコトニ定メラレタルニ付依命通牒ス

自テ軍用機製作上ノ見地ヨリ工場設備ニ關シ要望アル  
トキハ該將校ヨリ直接會社ニ對シ之ヲ行フコトナク貴軍  
ニ於テ之ヲ要求スヘキニ付為念申添フ

左

備

記

陸普第三四三二號

昭和十年六月十七日

- 一、軍用機ノ製造、研究、機密保持ニ關スル監督
- 二、製造原價ノ調査（調査品目ノ決定ヲ含ム）、購入口品ノ檢







大臣參謀總長、教育總監、文部

大臣及遞信大臣へ照會案

(陸普)

飛行機操縦教育<sup>術</sup>指導<sup>又訓練習</sup>、為民間飛行學校等  
現役將校以下派遣、件別紙勅令案、通制定  
致度異存ナクハ閣議ニ提出致スヘク照會ス

陸普第四八七〇號

昭和十年九月二日

右異存ナク回答アリタル後

請議案

飛行機操縦教育<sup>術</sup>指導<sup>又訓練習</sup>、為民間飛行學校等ニ陸  
軍現役將校以下派遣、件別紙勅令案、通制定相  
成度理由書相添、閣議ヲ請フ

陸普第四九二四號 昭和十年九月三日



八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	

勅令案

朕飛行機操縦術教育又ハ練習ハ指導ノ爲學校等ニ陸軍現役將校以下派遣ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和十年九月十一日

御名 御璽

官報照会印

内閣總理大臣  
 陸軍大臣  
 文部大臣  
 逓信大臣

く  
か  
六  
五

く  
か  
六  
五

く  
か  
六  
五

く  
か  
六  
五

勅令第 三百五十七 號

飛行機操縦術教育又ハ練習ノ指導ノ爲學校等ニ  
陸軍現役將校以下派遣ノ件

第一條 陸軍大臣ハ操縦候補生又ハ航空兵科ノ幹部候補生若ハ豫備役  
下士官ノ候補者タルニ適スル飛行機操縦技能ヲ授クルコトヲ得ルモ  
ノト認定スル民間ノ學校又ハ團體ヨリ申請アリタルトキハ此等候補  
生又ハ候補者タルニ適スル飛行機操縦術ノ教育又ハ練習ヲ指導セシ  
ムル爲之ニ陸軍現役將校ヲ派遣スルコトヲ得

前項ノ認定ハ陸軍大臣文部大臣又ハ遞信大臣ト協議シテ之ヲ行フ  
第二條 前條ノ規定ニ依リ將校ヲ派遣スル場合ニ於テ業務補助ノ爲必  
要アルトキハ陸軍ノ現役准士官又ハ現役下士官ヲモ派遣スルコトヲ

第

得

第三條 本令ニ依ル教育又ハ練習ノ指導ニ關シ必要ナル事項ハ陸軍大

臣文部大臣又ハ遞信大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

紙

八  
七  
六  
五

一

八  
七  
六  
五

正六廿

正六廿八

正六廿八

正六廿八

彙

理由書

豫備役操縦要員ヲ培養シ且其ノ質ノ向上ヲ圖ル爲民間ノ飛行學校等ニ  
軍事的豫備教育能力ヲ附加スルノ要アルニ由ル



省 部 文

貳 第七四九號

官實八九號

昭和十年九月三日



文部大臣 松田源治

陸軍大臣 林銑十郎 殿

飛行機操縦術教育又ハ練習ノ指導ノ爲學校等ニ  
陸軍現役將校以下派遣ノ件

昭和十年九月二日付陸普第四八七〇號ヲ以テ御照會ノ標記ノ件異存無  
之ニ付御了知相成度此段回答ス



式1749

八
十
六
五

八  
廿  
六  
正

八  
廿  
六  
正

八  
廿  
六  
正

八  
廿  
六  
正

武 第一七四九 二

陸 軍

參謀本部 參密第二八七 號第二



飛行機繰縦術教育又ハ練習ノ指導ノ爲學校等ニ  
陸軍現役將校以下派遣ノ件回答

昭和十年九月三日 參謀總長 載 仁 親 王

陸軍大臣 林 銑十郎 殿



首題ノ件ニ關シ九月二日陸普第四八七〇號ヲ以テ照會ノ趣異存ナシ



貳 第七四九 號 共 三

空監第九五八號

昭和十年九月四日



遞信省

(四)

遞信大臣 床次竹二郎

陸軍大臣 林 銑十郎 殿



飛行機操縦術教育又ハ練習ノ指導ノ爲學校等ニ  
陸軍現役將校以下派遣ノ件

昭和十年九月二日陸普第四八七〇號ヲ以テ御來照ノ首題ノ件異存無  
之候



閱



第七回九號其四

教庶第一七九四號

飛行機操縱術教育又ハ練習ノ指導ノ爲學校等  
ニ陸軍現役將校以下派遣ノ件回答

昭和十年九月三日

教育總監渡邊錠太郎

陸軍大臣 林銑十郎殿

九月二日附陸普第四八七〇號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件異存無之



軍

1787

保存期限

決裁指定

決行指定

牛島



政務次官回付 決裁前後連帶  
參與官回付 決裁前後連帶

受領番號

陸軍省 武第一八六九號

起元廳(課)名

軍事課

決行(決裁)後  
回覽課名

永久甲

始効

件名

在外武官ヲ行ハシヘキ件

大臣委

政務次官

次官

主務局長

參與官

高級副官

主務課長

書記官

主務副官  
官房御用掛

主務課員

審案  
筆記者

軍事課の第九四號

主務局長 領受 昭和 年 月 日  
提出 昭和 年 月 日  
大臣 領受 昭和 年 月 日

大臣官房 領受 昭和 年 月 日  
了結 昭和 年 月 日

決行(決裁)後 決行(決裁)後  
局長 局長

課長 課長

先

軍

大臣より多謀總長宛照會案(陸密)

今般兵器研究及資材整備ニ資スル為將官(長)佐官四名より成ル視察團ヲ往復ヲ合シ四ヶ月ノ豫定ヲ以テ主トシテ獨國ニ差遣セラルルニ就テハ左記ノ者ヲ其長トシテ在勤地ニ於テ勤務セシメ度照會ス

左記

獨國在勤帝國大使館附武官

陸軍少將 大島 浩

陸密第七二二號

昭和十年九月十六日

開

合

秘

軍

本橋

武藤

未

陸軍大臣

式 第 一 八 六 九

參謀本部

參密第三〇六號第二

在外武官ヲシテ一時他ノ職務ヲ兼ネ行ハシムヘキ  
件回答

昭和十年九月十八日

參謀總長 載仁親王

陸軍大臣 川島義之殿

九月十六日陸密第七二二號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件異存ナシ

陸軍大臣 10.9.19 前官

陸軍

參謀總長 載仁親王

式 1869

甲輯第二類目次

休暇名簿

檢番號

件

名

一 陸軍一般休暇ニ関スル件

二 關東州及南滿洲鐵道附屬地青年學校  
 午帳樣式制定件

形式  
 主務  
 年受  
 番號

通  
 要費  
 一〇  
 貳  
 二二三

全  
 徵募  
 一〇  
 全  
 二五一九

合

合

休暇名簿

陸

軍



副官ヲ陸軍一般へ通牒案

(陸普 甲)

來ル十月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座祭ニ付當日諸  
官員ニ休暇ヲ賜フ旨 仰出サレ依テ當日陸軍一般休務  
スル儀ト承知セラレ度依命通牒ス

陸普第五九五二號

昭和十年十月十八日

甲





内閣告示第五號

來月十月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座祭二付當日  
請官員ニ休暇ヲ賜フ旨仰出サレ

昭和十年十月十日

内閣總理大臣 岡田啓介

注意

(本審案用紙八三年以内保存ノ)

政務次官 回付 決裁前後連帶



決行(決裁)後 回覽課名



保存期限

三年

決裁指定

次官

決行指定



件名 熱田神宮本殿遷座祭當日休務並給料支給方ニ  
関スル件  
番 領 2135号  
受 領 2135号  
起元廳(課)名 恩賞課

大臣委

政務次官 次官 局長 主務

參與官

書記官

審案 筆者

號番 恩庶 149號

領受 昭和 年 月 日

提出 昭和 年 月 日

領受 昭和 年 月 日

了結 昭和 年 月 日

連帶

決行(決裁)後 回覽

局長

局長

長課

長課



主務 局長

高級 副官



主務課員

主務副官 官房御用掛



副官ヨリ陸軍一般へ通牒案

未ル十一月一日官幣大社熱田神宮本殿遷座  
祭當日諸官員ニ對シ内閣告示第五號ヲ以テ  
休暇賜與ノ件達セラレタルニ付常備ノ備  
入、職工ニ對シテモ當日休業セシメ特ニ給料ヲ  
支給シ可然ニ付依命通牒ス

陸普第五九六二號

昭和十年十月十八日

130

六  
七  
八

五  
六  
七  
八

紙

五  
六  
七  
八

五  
六  
七  
八

保存期限

永久

決裁指定



決行指定

牛島

號

二

政務次官回付  
決裁前後連帶  
課名

決行(決裁)後  
回覽課名

永久甲 各局

受領番號  
件名  
關東州及南滿洲鐵道附屬地青年與子校手帳  
樣式制定ノ件

大臣	局長	主務	次官	政務	高級	副官	主務課長	主務課員	主務副官	官房御用掛	書記官	審案	簿記者
局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長

軍徴第五三號

昭和三十二年十一月二日

局長

局長

牛島

牛島

牛島

牛島

牛島

牛島

副官ヨリ各軍師團參謀長(第三第九第十六師團ハ  
留守部經由)宛通牒案  
陸普

青年學校等ノ課程ヲ修メタル者ノ在学期間短  
縮ノ爲メ資格證明ニ関シテハ昭和十年十一月十三日  
陸普第六五三九號ヲ以テ通牒セシ所ナルモ今  
般對滿事務局ヨリ談通牒第八號ニ掲  
首題ノ青年學校 勸業省ニシテ 勸業省長ニ  
ノ標式制定並ニ式典ニ關シテ 案アリタルヲ以テ  
承ニ御相尋ニ被リ奉ルニ付 案ハ一併返シテ  
十年十一月三日 勸業省長 勸業省長 勸業省長

封 軍

八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

紙

八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

澤長

行第一三七九號

昭和十年十一月二十九日

對滿事務局行政課長 山越道三



陸軍省軍務局徵募課長 黑田重德殿

青年學校手帳ニ關スル件

今般關東州及南滿洲鐵道附屬地青年學校手帳様式別紙寫ノ通制定アリタル旨關東局ヨリ通知越候ニ付御參考迄及送付候也

柳 中村 太田 中村

内閣

陸軍省 10.11.29

寫

關行第二七一四號

昭和十年十一月七日

關東局司政部長 武部六藏

州應內務部長

滿鐵地方部長 宛

株式會社奉天遣兵所長

青年學校手帳ニ關スル件

青年學校手帳ノ様式別紙ノ通制定相成候條依命及通牒候

青年學校手帳ノ様式

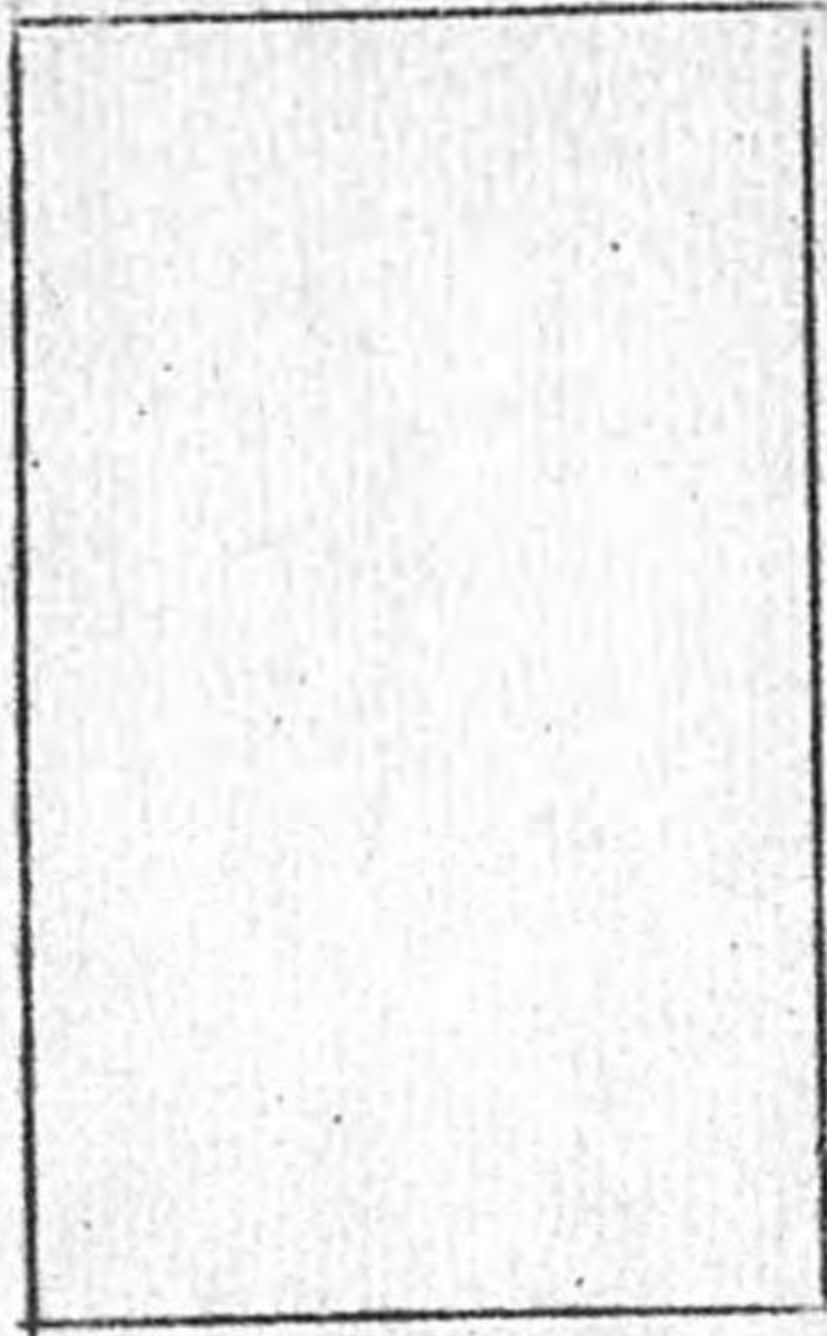
一手帳ノ大サ等ハ左ノ通トス

表裏ハ「布張」トシ水氣ニ堪ヘ且汚損シ難キモノヲ用フルコト

表



裏





二巻頭ニハ教育ニ關スル勅語ヲ奉記スルコト

三青年學校手帳ニ關スル心得トシテ左記事項及其ノ他必要ナル事項ヲ揭

グルコト

青年學校手帳ニ關スル心得

一本手帳ハ青年學校ニ出席ノ際必ズ之ヲ携帯スベシ

二本手帳ハ細心ノ注意ヲ以テ之ヲ取扱ヒ汚損又ハ紛失等ノコトナキヲ期

スベシ

三本手帳中在學關係欄、出席時數欄、教授及訓練委託情況欄、身體情況

欄及備考欄並ニ證明書欄ハ青年學校ニ於テ夫々記入證明ヲ受ケ其ノ他

ノ各欄ハ青年學校生徒ニ於テ適宜之ヲ記入スベシ

四轉學セントスルトキハ本手帳ヲ青年學校ニ提出シ出席時數其ノ他必要

ナル事項ノ記入證明ヲ受ケ移轉先青年學校ニ之ヲ提示スベシ

五他ノ青年學校ニ教授及訓練ヲ委託スル場合ニハ本手帳ヲ在籍青年學校ニ提出シ教授及訓練委託情況欄ニ出席時數其ノ他必要ナル事項ノ記入證明ヲ受ケ他ノ青年學校ニ之ヲ提示スベシ

前項ノ委託期間終了シタルトキハ教授及訓練委託情況欄ニ出席時數其ノ他必要ナル事項ノ記入證明ヲ受ケ在籍青年學校ニ之ヲ提示スベシ  
六男子ハ徵兵検査（海軍志願者ニ在リテハ徵募検査）又ハ入營ノ際本手帳ヲ携行スベシ

四修學情況其ノ他必要ナル事項ヲ記入スル爲左ノ各欄ヲ設クルコト但シ各學校ニ於テ必要アル場合ハ適宜欄ヲ加フルヲ得ルコト  
各欄ノ紙數ハ適宜トスルコト

(H)

昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	現 居 住 所 及 職 業 ノ 異 動	戸主及戸主 トノ 續柄		名氏	
							職 業	現 居 住 所	年 月 日 生	本 籍 地

(備考) 一 職業ハ自己ノ職業及雇傭關係等ヲ記入スルコト  
 一 住所及職業欄ハ出來ルダケ紙數ヲ多クスルコト

年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	月	日	青年學校入學前ノ經歷 入學、卒業、就職、退職等
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	月	日	

在學關係

昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	年 月 日
									入學、修了、卒業、轉學、退學、賞罰等 學校長印

備考

一 入學、修了、卒業、轉學、退學ハ青年學校ノ名稱、科及年ヲ記入スルコト  
 二 賞罰ハ其ノ事由ヲ記入スルコト

年	教授及訓練科目		出席時數				
	修身及普通	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	學校
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	長印
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	長印
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	長印
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	長印
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	長印
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	長印
年	公民科	學科	職業科	家事及裁縫科	教練科	体操科計	長印
合計							

(備考)

教授及訓練科目ノ各欄ニ記入スルマニノ數字ハ壹、貳、參ノ  
 字体ヲ用フルコト

關 東 局

年 目	教授及調 練科		出席時數 (研究科)														
	修身及 公民科	普通 學科	職業科	家事及 裁縫科	教練科	体操科	計	學校 長印	摘要								

(備考)  
 教授及訓練科目ノ各欄ニ記入スルニモノ数字ハ壹、貳、參ノ字体ヲ用フルコト

至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	至自 昭和 和和	及訓練 期間	教授 專修科 目	出席時 數 (專修科)	修身及 公民科	專修項 目	學校 長印	摘要
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

(備考) 教授及訓練科目ノ各欄ニ記入スルマニニノ數字ハ壹、貳、參ノ字体ヲ用フルコト



教授及訓練委託情況

期	教授及訓練 科目	學校名	科	修身 及公民 科	普通 科	職業 科	家事及 裁縫科	保健科	計	學校 長印
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							
至自 昭和 和	年	月	日							

(備考) 一 教授及訓練科目ノ各欄ニ記入スルマニニノ數字ハ壹、貳、參ノ字体ヲ用フルコト

ニ 學校名ハ其ノ所在地ヲ表示シ得ル範圍ニ於テ略稱ヲ用フルモ妨ゲナシ

(2)

								科 檢 査 年 月 項 目	身 體 情 況
昭 和 年 月	昭 和 年 月	昭 和 年 月	昭 和 年 月	昭 和 年 月	昭 和 年 月	昭 和 年 月	昭 和 年 月		
								身長	○  ○
								體重	
								胸圍	
								背長	
								腕力	
								握力	
								齒牙	
								疾病及 異常	
								學校 長印	

關  
東  
局

(9)

備

。

考

。

關  
東  
局

(H)

證 明 書

(氏 名)

年 月 日 生

右者兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依リ

陸軍大臣ノ定メタル程度ノ課程ヲ修得シタルコトヲ證ス

昭和 年 月 日

(何青年學校長 氏 名 印)

五本手帳ハ之ヲ男子ノミニ所持セシムルモノ及女子ノミニ所持セシムル

モノノ二種ニ別ツラ得ルコト

男子ノミニ所持セシムルモノニ在リテハ普通科ノ出席時數欄ニ於ケル  
家事及裁縫科、本科及研究科ノ各出席時數欄ニ於ケル家事及裁縫科並  
ニ体操操科、教授及訓練委託情況欄ニ於ケル家事及裁縫科ヲ女子ノミ  
ニ所持セシムルモノニ在リテハ青年學校手帳ニ關スル心得第六號ノ事  
項、本科及研究科ノ各出席時數欄ニ於ケル教練科、教授及訓練委託情  
況欄ニ於ケル教練科並ニ證明書欄ヲ削ルコト

甲輯第二類目次  
文書 報告

番編 号次	件	名	形平	主務	年	受	番部
一	檢閱スハキ軍隊教育用文書圖書ノ名目 中追加並削除ノ件	彙 官房	一〇	貳	三三	八	合
二	陸軍報告規程ニ関スル件	通 令	九	全	二四	六一	合
三	戰時死者及生死不明者報告手續中修正ノ件 陸達	令	九	全	一八	一一	合
四	機密書類取扱變更内協議ノ件	回 令	一〇	全	一一	三二	合

大言報

陸

員

五 建議陳情等對之回答要旨ニ関スル件

六 陸軍自動車操縦術技術證明書付與規則中改正ノ件

七 機密書類煮潰及焼却ノ件

八 陸軍兵器圖取扱規則改正ノ件

九 國有財産災害報告ニ関スル件

法裁官房 五七 頁 一八二四 合

陸軍兵務 一〇 合 一五八二 合

法裁官房 一〇 合 一九四八 合

達 銃砲 一〇 合 三三八一 合

通 建築 一〇 合 三九三三 合

八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正
八	寸	六	正

保存期限

決裁指定

決行指定

第 一

成規類表登載 17  
 政務次官 回付 決裁前後一連帶  
 參與官 課名

永久甲 文書

決行(決裁)後  
 回覽課名

印刷掛

受番  
 陸軍省

第 二二八 號

起元應(課)名

銃砲課

件名 檢閱之(主)庫隊教育用文書圖書(各)月中追加(至)削除(件)

政務 次官

參與官

書記官

審案 筆記者

大臣 羽味 季

次官

高級 副官 野 乘 秀 郎

主務副官 官形御用掛



局長 主務

課長 主務

主務課員

業務局 受領 昭和三十五年二月八日

局長 野 乘 秀 郎

課長 野 乘 秀 郎

大臣官房 了結 昭和三十五年三月八日

局長 野 乘 秀 郎

課長 野 乘 秀 郎

野 乘 秀 郎

野 乘 秀 郎

野 乘 秀 郎



告示案

陸軍省告示第

號

陸軍省告示第

六

號  
三月十二日官報掲載

大正七年陸軍省告示第一號檢閲之(千軍隊教育用文書)圖畫(名月中左)通追加並削除

昭和十年二月 日

陸軍大臣

追加

昭和十年 陸達第一號

彈藥取扱細則

削除

昭和五年 陸達第一號

彈藥取扱細則

三三

陸軍省

八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

八  
七  
六  
五

八  
七  
六

紙

八  
寸  
六  
正

八  
寸  
六  
正

八  
寸  
六  
正

八  
寸  
六  
正

核閱圖書目錄考案一併

昭和十年二月六日

乾欣澤



大臣及方部中

今收得事第一編以下三編系及扱細則改訂  
左記一通官報一考案相成

左記

削除

昭和五年降達第一編

降達取扱細則

追加

昭和十年降達第一編

降達取扱細則



副官ヨリ各師團(近衛ヲ除ク)、臺灣軍及関東軍  
參謀長、第三、第七、第十六師團各首長參謀ハ通牒

近シ陸軍報告規程ハ改正セラレ、答ナルニ當テ、間別紙、  
通該規程第三十由表ハ勅第一號其一及同其二ニ同第三十  
五表ハ勅第二號ニ依リ報告提出相成度

陸軍部 陸令 第七〇六〇號  
昭和九年十二月廿四日

官階	姓名	職名	備考
大正	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...

陸軍部 陸令 第七〇六〇號  
昭和九年十二月廿四日

陸軍部 陸令 第七〇六〇號  
昭和九年十二月廿四日  
陸軍部 陸令 第七〇六〇號  
昭和九年十二月廿四日

往復







備考	合計	者ルス事從ニ術技						計											
		其ノ他		二関心モ		二関心モ													
		補	後	後	後	後	後												

注意

一 本報告ハ師團（近衛師團ヲ除ク）司令部門東軍司令部、台灣軍司令部ニ於テ調製スルモノトス。本表ハ陸軍召集規則第百十七條ノ規定ニ依ル人員ヲ計上スルモノトス。但シ第一、第十四師管内ニ在籍者ニシテ近衛師團ニ召集スヘキ者及第六師團ニ於テ沖繩縣隊區ヨリ召集スヘキ者ハ本様式ニ準シ別表ニ調製スルモノトス。

二 舊野砲兵隊内ノ重砲兵大隊ニ於テ現役ヲ終リタル者及舊重砲兵乙部隊ニ在籍シタル者ハ野戰重砲兵ノ部ニ舊重砲兵甲部隊ニ在籍シタル者ハ重砲兵ノ部ニ計上スルモノトス。

三 陸軍召集規則第百三條ノ規定ニ依リ電信隊飛行隊又ハ氣球隊ニ召集スヘキ他兵科ノ者ハ電信兵飛行兵又ハ氣球兵ノ相當區劃中ニ略符號ヲ對シテ記載スルモノトス。

四 兵ニシテ經理部又ハ獸醫部下士官適任證書ヲ所持スル者ハ經理部又ハ獸醫部兵相當欄ニ合算記入スルモノトス。

五 左記各號該當者ハ特ニ下記符號ヲ對シテ當該各兵科（種）部相當區劃中ニ列記スルモノトス。

六 一ノ歩砲兵無線電信教育所及步砲兵大隊ニ於テ無線電信ノ教育ヲ受ケタル者

二ノ師團無線電信教育所ニ於テ教育ヲ受ケタル者及電信兵中無線兵中隊ニ在籍シタル者

三ノ騎兵中無線電信ノ教育ヲ受ケタル者

四ノ騎兵下士官以下ニシテ機關銃隊ニ於テ教育ヲ受ケタル者

ム乙  
ム乙  
キム乙

五 工兵中陸軍工兵學校電氣中隊ニ在隊シタル者及電信兵中電氣修業者  
 六 電信兵中無線甲中隊ニ在隊シタル者  
 七 各兵科ノ者ニシテ自勳章ニ關スル教育ヲ受ケタル者  
 八 各兵科ノ者ニシテ各府縣ニ於ケル自勳章獲免許證ヲ有スル者(前歸ノ者ヲ除ク)  
 九 後備役各部下士官中幹部候補生(一年志願兵ヲ含ム)出身者  
 十 前年ノ事故者ニシテ翌年(次年)廻リト為リタル者  
 十一 飛行兵中飛行第七聯隊ニ於テ服役シタル者  
 十二 補助看護兵  
 七 歩兵一年半在營兵ニシテ調査年ノ翌年秋季演習ノ為召集スルハキ豫定人員ニ在リテハ歩兵豫備  
 八 相當區劃中ニ歸ラシテ別記スルモノトス  
 九 砲工兵工長ニ在リテハ技術ニ從事スル者ノ行相當區劃中ニ記載スルモノトス但シ幹部候補生  
 出身以外ノ者ニ在リテハ梅孤ヲ附シテ別記スルモノトス  
 十 幹部候補生ニシテ士官ニ任セラレハキ資格ヲ有スル者ノ欄ニハ陸軍補充令附則第二條ニ依ル  
 十一 幹部候補生中士官ニ任セラレハキ資格ヲ有スル者ニシテ調査年ノ翌年召集スルハキ者ニ付記入ス  
 十二 幹部候補生中士官ニ任セラレハキ資格ヲ有スル者ニシテ調査年ノ翌年召集スルハキ者ニ付記入ス

デ  
 ム  
 甲  
 自  
 自  
 免  
 カ  
 ジ  
 バ  
 マ

磨  
 工  
 兵







考 備	獸 醫 部	衛 生 部	經 理 部	輜 重 兵	氣 球 兵

注意一 本報告ハ師團司令部、台灣軍司令部、関東軍司令部ニ於テ調製スルモノトス  
 二 同兵科(種)同役種中召集期日ヲ異ニスルモノ之ヲ區別列記シ又同兵科中召集部隊ヲ異ニスルモノハ適宜所  
 要ノ行ヲ設ケテ之ヲ區分記載スルモノトス  
 三 陸軍補充令附則第四條ニ依ル該當者ニ在リテ、陸軍補充令第六十二ノ三ニ依ル該當者欄ニ別記スルモノトス

保存期限

決裁指定

決行指定



政務大官回付 決裁前後連帶

決行(決裁)後回覽課名

受領番號

貳第 二四六一號

起元廳(課)名

官

房

件名

事務報告ニ関スル件

大臣委

政務次官 局長

參與官

書記官

審案 筆記者

局長

課長

主務課員

次官

高級副官

主務副官

主務局課

受領 昭和十年二月五日

連帶

局長

課長

大臣官房

受領 昭和十年二月五日

決行後回覽

局長

課長

手記

提出

昭和十年二月五日

帶

局長

課長

了結

昭和十年二月五日

(決裁)後回覽

局長

課長

手記



主務課員

審案 筆記者

官房ヨリ第二第十師團司令部

死電報

シヨウワ九ネシ(リアツセロ六ロ)ニアセ)ドウタイ一ゴウ  
昭和九年陸善ヲセ。妖。辨ニ依ル動第一辨  
ソノニ(シトサテエウ)  
其二至急提出セラレ度

陸三三

昭和十年二月廿一日



手帳簿  
昭和十年二月廿一日

昭和十年二月廿一日

昭和十年二月廿一日

關

統計  
須

式第二四六一號其

電報譯

二月二十三日午前午後二時五十分發  
三月五日著

10.225  
陸軍大臣官

第一號

陸軍

大臣官房宛 發信者二師團司令部

陸三七ノ件一同第二號其一本日發送セリ

昭和拾年貳月廿五日

長久保

# 陸軍電信著信紙

注意

受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ  
 受付時刻ノ表示中「日」トアルハ午前「ウ」トアルハ午後ヲ示ス

文	本	定指	受信氏名	局發	局
	リク三セノケン、ド ウダイニゴ ウソノーホンヒハツソウセリ、ニシオシ		リクグ ンセウダイ ンジ ンカンボ ウ	官 三五字 センダイ 四三八 コニ時五一分	一 一 通過番號  受信時刻 午 三 時 八 分 技手 ハ
		事記			
					著信番號

附  
 10.2.23  
 所採取信電

陸軍省

陸軍省  
9.9.15  
醫事課

保存期限 永久  
決裁指定  
執行指定  
牛島

陸軍省  
9.9.17  
生計課

陸軍省  
9.9.8  
第32期  
勳賞課

成規類級獎勵

陸軍省  
9.9.3  
265

陸軍省  
9.9.1  
273  
軍事課

陸軍省  
9.8.31  
162  
衛生課

陸軍省  
9.8.31  
午前10時  
恩賞課

房官臣大	課局務主
了結 領受	出提 領受 號番
昭 昭 和 和 年 年 八 八 月 月 二 二 十 十 七 七 日 日	

決行決 覽回覽	帶 連
局長	局長

長 課	長 課
-----	-----

大臣 委	局長 主務	次官	政務 次官	高級 副官	參與官
	主務課長				
	主務課員	主務副官 官房御用掛			

受 番 領 號  
武 第 一 二 號  
元 應 (課) 名  
官 房  
戰時死者及生死不明者報告手續改正件

陸軍省  
9.9.22  
第912期  
陸務

陸軍省  
9.9.12  
衛生課

筆審  
記者案

防備課

陸軍省

次官ヨリ司法次官へ照會

明治三十七年陸達第一五一號戰時死者及生死不明者報告手續改正案(別紙)ニ對スル責見承リ度照會ス

陸普第六九七四號

昭和九年十二月廿日

右異存ナキ旨回答アリタル上

陸達第一

號

陸達第二

號

一月三日官報掲載

戰時死者及生死不明者報告手續左ノ通改正ス

年 月 日

官報照合

陸軍大臣

戰時死亡者生死不明者報告手續

別紙連



戦時死亡者及生死不明者報告手續

第一條

戦時又ハ事變ニ際シ軍人及軍屬ニ左ノ各號ノ一二該當スル

事實（以下單ニ事故ト稱ス）アリタル場合ニ於テハ本手續ノ定ム

ル所ニ依リ報告又ハ通報ヲ爲スモノトス

一 戦地又ハ事變地ニ在ル部隊ニ屬スル者及屯营地又ハ戦地若ハ

事變地ヨリ戦地若ハ事變地又ハ屯营地ヘノ輸送中ノ部隊ニ屬ス

ル者ノ死亡、生死不明及生死不明者ノ歸投又ハ死體發見

二 戦地又ハ事變地ニ於テ得タル傷痕又ハ疾病ニ起因スル死亡

三 戦地又ハ事變地外ニ於ケル戦役勤務又ハ事變勤務ノ爲得タル

傷痕又ハ疾病ニ起因スル死亡

前項第二號及第三號ノ死亡ニ付テハ傷痕ニ起因スルモノニ在リテ

ハ負傷ノ日ヨリ三年以内、疾病ニ起因スルモノニ在リテハ罹病ノ

第二條 前條各號ノ一ニ該當スル事故アリタルトキハ事故者ノ所屬  
 部隊長ハ附録第一様式ニ依リ生死不明及生死不明者ノ歸投ヲ除ク  
 事故ニ在リテハ戶籍法第百十六條ノ規定ニ依ル死亡ノ届出ニ添付  
 スベキ書類ハ死亡診斷書又ハ死體檢案書各一通但シ第四條第四號  
 ノ場合ヲ除クハ添へ之ヲ師團長、兵站監又ハ之ニ準ズル長官ニ  
 報告シ該諸官ハ之ヲ留守部隊長又ハ留守業務擔任部隊長へ移牒ス  
 ルモノトス但シ戰地又ハ事變地ニ於テ生ジタル事故ニ在リテハ本  
 人ノ所屬部隊長ハ之ニ先シ附録第二様式ノ記載例ニ準ジ電報ハ通  
 常官報一ヲ以テ留守部隊長又ハ留守業務擔任部隊長へ速報スルモ  
 ノトス  
 本人所屬部隊ニ在ラザル場合ニ在リテハ左ノ諸官ハ前項ノ手續ヲ  
 爲シ且速報ニ其ノ旨ヲ所屬部隊長へ通牒スルモノトス

往復

- 第一 軍隊區分其ノ他ニ依リ他部隊ヘ配屬セラレ所屬部隊ト屯在地  
ヲ異ニスル場合ニ在リテハ其ノ部隊長
- 第二 輸送中ノ場合ニ在リテハ兵站部隊長又ハ鐵道船舶輸送諸部  
部隊長
- 第三 入院中ノ場合ニ在リテハ病院長
- 第四 囚禁場ニ拘禁中ノ場合ニ在リテハ囚禁場長
- 第三條 留守部隊長又ハ留守業務擔任部隊長前條第一項但書ノ電報  
ヲ受ケタルトキハ適宜ノ方法ニ依リ成ルベク速ニ之ヲ事故者ノ留  
守擔當者ヘ内報スルモノトス
- 第四條 留守部隊長又ハ留守業務擔任部隊長第二條ノ規定ニ依ル通  
牒（附錄第一様式）ヲ受ケタルトキハ左ノ各號ノ手續ヲ爲スモノ  
トス
- 一 戰時死亡者生死不明者名票（附錄第五様式）一通ヲ調製シ師

一 團司令部（留守師團司令部又ハ師團司令部留守部）又ハ之ニ準ズル部隊ヲ經テ陸軍省ヘ送付ス

二 附錄第三様式ニ依リ事故者ノ留守擔當者ヘ通報ス

三 前號通報ノ寫ヲ事故者ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ヘ送付ス

四 戰死者（戰場ニ於テ死亡シタル者及戰場ヨリ病院ヘ後送中死亡シタル者）<sup>者</sup>戰地又ハ事變地ノ死亡者ニシテ死體ヲ發見セ

ザル場合ニ於テ<sup>部</sup>隊長ガ死亡ヲ確認シタル者其ノ他戰地又ハ事變

地ニ於テ水難、火災等ノ<sup>事故</sup>ニ因リ死亡シタル者ニ在リテハ本

人本籍地ノ市<sup>町</sup>村長ニ對シ<sup>附錄</sup>四様式ニ依リ<sup>戸籍法第百十九條ノ</sup>報告ヲ爲ス但シ當該

留守部隊又ハ留守業務擔任部隊ガ兵籍又ハ文官名簿所管部隊ニ

非ザル場合ニ在リテハ所要ノ記入ヲ爲ス爲兵籍又ハ文官名簿所

管部隊ヲ經由スルモノトス

第五條 第一條第二條號又ハ第三號ニ該當スル死亡者ニシテ其ノ死

亡ガ現役満期、召集解除又ハ兵役免除ノ後ナルトキハ死亡者ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ第四條第一號ニ規定スル手續ヲ爲シ且死亡ノ旨ヲ死亡者ノ最終所屬部隊長へ通牒スルモノトス

第六條 陸軍重屬ニ非ザル陸軍運送船舶ノ船員又ハ臨時雇傭者等ニシテ命令ニ依リ戰役勤務又ハ事變勤務ニ直接關聯シテ死亡シ又ハ生死不明ト爲リタルトキハ關係部隊長ハ本手續ノ規定ヲ準用シ第四條第一號、第二號及第四號ニ規定スル手續ヲ爲スモノトス

第七條 事故者ニシテ留守部隊若ハ留守業務擔任部隊ヲ有セザル動員若ハ臨時編成シタル部隊又ハ平時部隊ニ屬スル場合ニ在リテハ本手續ニ定ムル留守部隊長又ハ留守業務擔任部隊長ノ爲スベキ報告及通報ハ當該動員若ハ臨時編成シタル部隊又ハ平時部隊長ニ於テ本手續ノ規定ニ準ジ自ラ之ヲ爲スモノトス

第八條 第一條第三號ニ規定スル戰地又ハ事變地ニ於ケル戰役勤務

及ハ事變勤務ノ範圍ニ關シテハ別ニ之ヲ指示ス

本達ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄略ス

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な縦書きの文字列が並ぶ）

死不明者ノ死體發見ニ在リテハ認定スル死亡場所ヲ附記ス  
例ヘバ次ノ如シ

何部何傷ニ因リ戰(戰傷)死、死體ヲ發見セザルモ何々ニ因  
リ死亡確認、何病ニ因リ病死(戰役勤務ニ起因ス)、何々  
ニ因リ河中ニ墜落シテ溺死(戰役勤務ニ起因セズ)、何病  
(戰役勤務ニ起因ス)ニ因リ還送途中死亡、戰闘ノ爲生  
死不明、何月何日以來生死不明ノ處歸投(死體發見何

月何日何時何地ニ於テ戰死ト認定)、戰地勤務中何病ニ  
罹リ何年何月何日何地何病院ニ入院何月何日内地還送  
何月何日何病院ニ收容何年何月何日何病ニ轉症何年  
何月何日兵役免除退院後本籍地ニ於テ療養中同病  
ニ因リ死亡(戰役勤務ニ起因ス)

四 認識票番號 本部、中隊等ノ區分ノ符號及番號並ニ各人ノ番

號ヲ記載ス





五

官等級

大正十三年陸達第六號ノ畧符號ヲ使用ス但シ各

六

部隊固有ノ兵科(部)ニ在リテハ其ノ畧符號ヲ省畧ス

既報電報發翰番號

附録 第二書式

電文ノ發翰番號ヲ記載ス

七

添付書類

第二條ノ規定ニ依リ添付シタル書類ヲ診一(

死亡診斷書一通)、檢一(死體檢案書一通)又ハ證一(公ノ證

明書一通)ノ如ク畧記ス但シ添付書類ヲ後送スル場合ニ

在リテハ其ノ旨ヲ附記ス

附



第三様式

(第一記例)

官等級 氏 名

右何月何日何地附近ノ戦闘ニ於テ何部何傷ヲ受テ戦死何地ニ於テ火災ノ爲死亡セラレ候條此段通告候也

下追テ市町村長ニ對スル死亡報告ハ戸籍法第百十九條ニ依リ官

ニ於テ處理可致候(尚扶助料請求ニ要スル何書一通添付致候)

年月日 職 氏 名 (印)

(第二記例)

官等級 氏 名

右何月何日何地何病院(何地何々)ニ於テ死亡セラレ候條此段通告候也

追テ死亡届出及扶助料請求ニ要スル死亡診断書(死體検察書)

一通添付致候

(追テ死亡届出及扶助料請求ニ要スル書類ハ後日送付可致候)

年月日 職 氏 名 (印)

調製上ノ注意 定

一 第一記例ハ規程第四條第四號ニ依リ官ニ於テ戸籍法上ノ死亡報告ヲ為スベキ場合ノ例ニシテ第二記例ハ届出義務者ニ於テ死亡届出ヲ為スベキ場合ノ例トス

二 第一記例ニ在リテハ死亡ノ直接ノ原因ヲ何部何傷ヲ受テ戦死セラレ「列車轉覆ニ因リ傷死セラレ」等ト記載スルヲ要シ第二記例ニ於テハ之ヲ省略シ「死亡セラレ」ト記載ス

(第一記例)

死亡報告

府(縣)郡(市)町(村)番地

戸主(事故者全名非ハルトキハ大主ノ氏名及至ト事故者ト續柄)氏

名

右何年何月何日午前(後)何時何分(又ハ時刻不明)何國何省(州)何縣何何附近ノ戦闘ニ於テ戦死(何ニ因リ死亡)ス

右報告候也

年月日

留守部隊長(兼留守業務)氏

名印

市町村長殿

(第二記例)

死亡報告

府(縣)郡(市)町(村)番地

戸主(事故者全名非ハルトキハ大主ノ氏名及至ト事故者ト續柄)氏

名

右何年何月何日午前(後)何時何分(又ハ時刻不明)何國何省(州)何縣何何附近ニ於テ戦死(何ニ因リ死亡)シタルコトヲ確認ス

右報告候也

年月日

留守部隊長(兼留守業務)氏

名印

市町村長殿

調製上ノ注意

一 戸主トノ續柄ハ兵籍又ハ文官名簿所管部隊ニ於テ記載スルモノトス

二 本死亡報告ニハ附録第一様式ノ通牒ノ寫(既報電報ノ発翰番號欄及添付書類欄ヲ除キ且本人以外ノ行ヲ有キタル抄本トス)ヲ添付スルモノトス

218

調製上ノ注意

第五様式  
(番號)

戰時死亡者生不分明者名票						
遺族現住所	遺族氏名 <small>事故 不續</small>	事由	年月日	本籍	役種	所屬部隊
					官等級	調製部隊
			死亡場所 地番等		氏名	
	( )					

150 釐

100 釐

一番號 注意ニ示ス所屬部隊ノ符號ヲ冠シ所屬部隊毎ノ連番號ヲ記載ス  
ニ所屬部隊 本人最終ノ所屬部隊ヲ認識票ニ記載スル符號及番號ヲ以テ表ハス  
三調製部隊 本票ヲ調製スル留守部隊又ハ留守業務擔任部隊ヲ記載ス  
四役種及官等級 大正十三年陸軍第六號ノ各符號ヲ使用シテ記載ス

軍人及又官同待遇者以外ノ者ニ在リテハ雇傭ノ業名ヲ記シ且格弧ヲ  
附シテ宣誓ノ年月日ヲ附記ス

丑年月日 死亡、生死不明及生死不明者ノ歸投又ハ死體発見ノ年月日ヲ

九、一、二、三、等ト記載ス

六地名等 様式第三準ズ

七事由 様式第一準ズ

八遺族ノ氏名及<sup>事故者</sup>トノ續柄 死亡者ノ妻子、夫、父母、祖父、祖母、順位ニ

依リ其ノ一ニ就キ氏名ヲ記載シ格弧内ニ妻、父等ノ續柄ヲ記載ス

九遺族ノ現住所 本籍地ニ現住スル者ニ在リテハ「本籍地」同シト記載ス

十本名票ノ用紙ハ陸軍省ニ於テ印刷配布ス

改正理由

一 舊手續ニ於テハ報告ノ範圍ヲ「動員部隊(臨時編成)ニ屬スル軍人軍屬ニシテ死亡・生死不明者ハ生死不明者ノ歸投又ハ死體發見ノ場合」ト規定セルモ動員(臨時編成)部隊ニ非サル部隊ニ屬スル者又ハ召集解除・兵役免除等ノタメノ部隊ヲ離レタル者ノ在ノ各號ニ該當スル事實ニ就テモ特別賜金下賜・靖國神社合祀等ノ關係上報告ヲ徵スル必要ヲ認メ之ヲ改正ヲ爲シタリ(第一條)

一 戦地又ハ事變地ニ在ル部隊又ハ屯營地(戦地又ハ事變地)ヨリ戦地又ハ事變地(屯營地)へノ輸送中ノ部隊ニ屬スル者ノ死亡・生死不明及生死不明者ノ歸投又ハ死體發見

二 戦地又ハ事變地ニ於テ得スル傷疾又ハ疾病ニ起因スル死亡

二 舊手續ニ於テハ戦地又ハ事變地ノ所屬部隊ヨリ師團司令部等

ニヲ經テ留守師團司令部等へ移サレ然ル後留守部隊へ通報セ  
ラルル規定ナルモ此等ノ師團又ハ留守師團ヲ經由スルハ事  
務上不便ナルトモナラス其ノ必要ヲ認メス所屬部隊ヨリ直接  
留守部隊等へ通報スルヲ可ナリト認メラシメ之ヲ改正シ(第三條第一項)  
尚本ノ所屬部隊ニ在ラサル場合ノ通報責任者ヲ明確ナラシメ  
置ク必要ヲ認メ之カ規定ヲ設ケタリ(第二條第三項)

三 舊手續ニ於テハ戰地ヨリ内地へノ通報ニ電報ヲ用フル規定ナカリ  
シモ最近新聞通信ノ活動等ヲ顧慮シ之カ規定ヲ設ケタリ(第二  
條第二項及第三條)

四 陸軍省ニ於テハ戰病死者等ヲ事務上「カード」ニ依リテ整理スル  
ヲ要スルヲ以テ「カード」ニ書換フルノ煩ト誤記ヲ避ケル爲メ初  
メヨリ名票ヲ提出セシムルヲ可ナリト認メ名票ノ様式ヲ定メタリ  
(第四條第一號)



五 舊手續ニ於テハ遺族へノ通報及市町村長へ<sup>死亡</sup>報告ヲ現役者及軍  
屬ニ在リテハ留守部隊長等ニ於テ爲シ豫備役後備役補充兵  
役ノ者及歸休兵ニ在リテハ聯隊區司令官ニ於テ爲ス規定ナ  
ルモ事務ノ性質上及其ノ統一上全部留守部隊ヲ行ハシムル  
ヲ可ナリト認メ之ヲ改正シタリ(第四條第二號及第四號)

六 舊手續ニ於テハ死體ヲ發見シ得サル場合ニ限リ市町村長へ  
死亡ノ通報ヲ爲スコトヲ規定ス然ルニ其ノ後戶籍法ノ改正  
アリテ其ノ第百十九條ニ「水難、火災其他ノ事變ニ因リ死  
亡シタル者アル場合ニ於テハ其取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ  
死亡者ノ本籍地、市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス」ト規  
定セル「其他ノ事變」ニ戰爭ノ場合ヲ含マシムルヲ適當ト認メ司  
法<sup>省</sup>協議ノ上之カ規定ヲ設クルコトトシタリ(第四條第四號)

須  
統計

貳  
第  
一  
五  
八  
八  
號

司法部  
民事局  
民事甲第一五八八號

昭和九年十二月廿二日

昭和九年十二月廿二日  
9.12.24  
午前  
官

司  
法  
省

陸軍次官 橋 本 虎之助 殿

司法次官 金 山 季 逸

司法省

客月二十日附陸普第六九七四號ヲ以テ御照會ニ係ル戰時死者及生死不明者  
報告手續改正ノ件ニ付テハ當省ニ於テ異存無之候條右及御回答候也

式 1812

保存期限

決裁指定

決行指定

牛島

政務次官 同付 決裁 前後 連帶 課名

受領番號 貳第 八二二 號

件名 戰時死亡者生死不明者名票送付ノ件

大臣

政務 次官 主務 局長

高級 副官 參與官

書記官 主務 副官 官房 御用 掛計 主務 課員

審案 筆者

起元廳(課)名

官

房

決行(決裁)後 回覽 課名

了結	領受	出提	領受	號番
昭和 年 月 日	昭和 年 二月十九日	昭和 十年 二月十九日	昭和 年 月 日	

決行後 回覽	連帶
局長	局長

課長	課長
----	----

印 綑

副官ヨリ別紙配賦表ノ箇所へ通牒

本年一月二十三日官報陸達第二號ニ依ル首題名票 枚

送付ス

逓達官報同部別部令有見是所附所要豫定數ヨリ毎年

豫定係連陸軍省大庫庫通牒相成度

追テ自今該名票ハ次年度所定豫定數ヲ毎年度末ニ

陸軍省者ニ請求スルコトト

副官ヨリ造兵廠長官、兵器本廠長、技術本部長

軍馬補充部本部長、築城部本部長、千住

製絨所長、糧秣本廠長、被服本廠長、衛生材料

廠長、東京警備部長、陸軍醫務所長、右邊校長

往復

(別紙)

戰時死亡者生死不明者名票配賦表

部	隊	名	枚	數	部	隊	名	枚	數	部	隊	名	枚	數
航空	本部		二	五	第四	師	團	七	五	第十九	師	團	二	五
憲兵	司令部		二	五	第五	師	團	四	五	第二十	師	團	二	五
參謀	本部		二	五	第六	師	團	四	五	第三	師	團	二	五
教育	總監部		二	五	第八	師	團	四	五	第七	師	團	二	五
近衛	師團		七	五	第九	師	團	四	五	第六	師	團	九	五
第一	師團		一	〇	第十	師	團	四	〇	朝鮮	軍	司令部	一	〇
					第十一	師	團	四	五	台灣	軍	司令部	一	〇
運輸	部		二	〇	第十二	師	團	八	〇	關東	軍	司令部	二	五
第二	師團		四	〇	第十四	師	團	四	〇	支那	駐屯	軍司令部	四	五

陸軍

一通牒

同日官報掲載

本年一月二十三日官報陸達第二號二依首題名票  
陸軍大臣官房一通牒相成度

相成度依余通牒

陸普第八二三號

昭和十年二月廿一日

昭和十年二月廿一日

陸軍大臣官房

陸軍

保存期限  
 決裁指定  
 高級副官委任  
 執行指定  
 牛島

政務大官回付  
 決裁前連帶  
 課名

防備課

決行(決裁)後  
 回覽課名

陸軍省  
 10.3.4  
 新聞班  
 1940

陸軍省  
 10.3.4  
 防備課

受領番號  
 武第一八一三號  
 起元廳(課)名  
 官房  
 審案  
 筆記者

大臣  
 委  
 政務次官  
 參與官  
 書記官  
 高級副官  
 主務副官  
 主務課員

主務局長  
 主務課長  
 局長  
 課長  
 昭和三十二年三月二日  
 昭和三十二年三月四日  
 昭和三十二年三月五日

大官大臣  
 房官  
 了結  
 昭和三十二年三月五日

關東軍於今死之報告寫真電送一件

牛島

小前江

須

新

代

代

課長

昭和三十二年三月五日

局長

昭和三十二年三月五日

閣下<sup>二八五</sup>副官より關東軍副官へ電報

(暗號)

新聞發表其、他必要アルニ依リ死者及生死不明者  
報告ハ從來通寫真電送ヲ繼續セラル度

陸 四 五

昭和十年三月五日

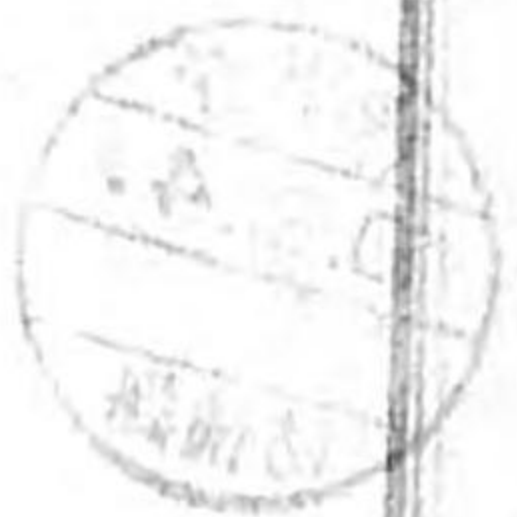
陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中佐 陸軍少佐 陸軍中佐 陸軍少佐

支那 八 一 一 號

支

支

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中佐 陸軍少佐 陸軍中佐 陸軍少佐



往復



貳 陸軍省 陸軍部 第一八二二號 其三

陸軍省 陸軍部 第一八二二號 其三

陸軍省 陸軍部 第一八二二號 其三

秘

電報譯

二月八日 午前午後

四時三十分 著

第

號

副官 宛 發信者 關東軍副官

統計

須

關思ニ八五

防備

久米

從來軍司令官ヨリ寫真電送ヲナシアリタル死者  
及生死不明者報告ハ本年一月二十三日陸連第二

恩賞

相

號ニ依リ尔今必要ナキモノト解ス。 返

陸軍省 陸軍部 第一八二二號 其三

式第一八三號

陸軍省  
10.2.23  
福

陸

軍

被第三五七號

戰時死亡者生死不明者名票請求ニ關スル件通牒

昭和十年二月二十七日

陸軍被服本廠長奥田徳三郎

陸軍省副官 牛島 滿 殿



二月二十一日附陸普第八一三號通牒首題ノ件ハ當廠所管内大阪  
廣島兩支廠ノ分共計十枚送付相成度

昭和拾年參月貳日送分



保存期限  
 決裁指定  
 決行指定

政務次官  
 參與官  
 回付  
 決裁  
 後  
 連帶  
 課名

決行(決裁)後  
 回覽課名

受領  
 番號

貳第 一八一二號

起元廳(課)名

官房

件名

戰時死亡者生死不明者名票ニ關スル件

大臣  
 委員  
 自  
 不  
 用  
 者  
 職  
 名  
 簿  
 一  
 部  
 軍  
 官  
 二  
 部  
 軍  
 官  
 三  
 部  
 軍  
 官

政務  
 次官

參與官

書記官

審案  
 筆記者

局長  
 主務

高級  
 副官

主務副官  
 官務御用掛  
 計

主務課員

審案  
 筆記者

主務局

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

受領

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

提出

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

了結

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

昭  
 和  
 十  
 年  
 三  
 月  
 七  
 日

無効

副官より第十師團副官へ回答

三月四月附十師副團第九三號ヲ以テ御照會自相成候戰時  
死亡者生死不明者名票ニ関スル件左記ノ通回答候也

左記

一、昭和七年陸滿普集三五九號滿洲事變死者及生死

不明者報告手續ハ昭和十年一月二十三日陸達第壹號

ニ依リ自然消滅トナリタルモノトス

二、陸軍省ニ對スル報告ハ名票ヲ以テ一通提出スルモノ

トス

陸普第一二九〇號

昭和十年三月十三日

遺失ノカキ付キタルモノトス  
遺失ノカキ付キタルモノトス  
遺失ノカキ付キタルモノトス

往復